



# 「ルールづくり編」



子どもが適切に携帯電話を利用するためには「本当に必要かどうか」「必要ならばどんな使い方をするのか」あらかじめ家族で話し合っルールを決めておくことが必要です。

ルールを決める時や、子どもの生活実態などに応じてルールを変更していく時にも、家族の間で話し合っ決めてコミュニケーションが重要になります。

日常生活に影響を及ぼす「ケータイ依存」にならないために、また、犯罪やトラブルに巻き込まれないために、ルールを決める際のポイントをあらかじめ理解することが大切です。

ここでは、この教材を利用して2010年2月に千葉市生涯学習センターで地域の保護者を対象に開催された勉強会と、埼玉県東松山市立南中学校のPTAの方々を対象に行われた研修会から得られた参加者の感想をご紹介しますとともに、内容を再構成した50分のモデル指導案をご紹介します。

## 受講者の感想

携帯電話を子どもに持たせるということは、家族のあり方を考えることだと思った。

小学生の子ども親として、他人事ではないと実感した。「話し合うことが大切」という言葉が心に響いた。

子どもに携帯電話を持たせる前に受講したかった。

「ルールづくりは保護者の責任」という点に納得した。

家に帰ったら、さっそく子どもと話し合いをして、ルールづくりをしようと思った。



## モデル指導案のねらい「ルールづくり編」

### 1 ルールづくりのポイントを知る

「料金」「ネット」「時間」という3つのポイントを知り、一度決めたルールであっても、子どもの生活実態などに応じて話し合いながら変更することが必要だという意識を持てます。

### 2 基本は「コミュニケーション」

家族の中で円滑にルールづくりをするために、コミュニケーションが重要であることを意識できます。これは、携帯電話の使い方に限らず、ひいては家庭生活のあらゆることにもつながります。

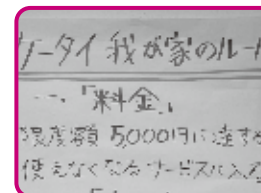
### 3 参加者の交流の場にする

感想や意見を交換する時間を設定しています。様々な家庭でのルールづくりの状況を共有して、何かあったときお互いに相談しあえる関係づくりをするきっかけになります。

## 映像教材のあらすじ

### NHK『ケータイ親子の道しるべ』～わが家のルール～

中学1年生になった女の子と高校生のお兄さん、そして父親、母親の4人家族の物語。女の子は、クラスの半数が携帯電話を持っていることもあり、誕生日に買ってほしいとねだります。でも両親は、高校生の兄が携帯電話でたいへんな思いをした経験があるので渋い顔。そして子どもたちに、携帯電話を持つなら「わが家のルール」を守るという条件を出します。その後も、家族で話し合いを重ねながら、ルールを修正していきます。



# 1. ルールづくり編 モデル指導案

時間	学習活動と内容 ○は参加者の活動、 □は講師のセリフ例を意味する。	進行上、留意する点	資料など
1 min	<b>1. 講師の自己紹介</b> ○講師の自己紹介を行う。 ※少人数であれば、参加者も簡単に自己紹介する。	●参加者が話しやすい雰囲気をつくる	
1 min	<b>2. 内容を確認する</b> 「本日のテーマは子どもとケータイをめぐる”家庭内のルールづくり”です。NHKで放送された「ケータイ親子の道しるべ」というドラマを見ながら、ルールづくりについて考えていきます。」 ◎講座の目的を理解する。	●本授業の目的を確認する。	
3 min	<b>3. グループづくり</b> 「まずはじめに、話し合いを行っていただくためのグループをつくります。時間を2分とりますので、3名～4名のグループをつくってください。できれば、お互いにこれまであまり話したことがない人同士で集まってください。」 ◎話し合いをするため、3～4名のグループをつくる。	●普段から話したことがない人同士で組むようにながす。 ●次に進む前に、グループに入れない人がいないか確認する。	
2 min	「それでは、さらに時間を2分とりますので、お互い活発な話し合いができるいい雰囲気をつくってください。方法は各グループにおまかせします。では、どうぞ！」 ◎今後、意見を自由に言い合えるための雰囲気をつくる。 ※「自己紹介をする」「グループ名を決める」「最近興味があることを紹介する」などの題材を指定してもよい。	●会場内を巡回して、話が弾まないグループがあれば話題を提供するなどして支援する。	
12 min	<b>4. ビデオを見て考える</b> 「それでは、今から『わが家のルール』というビデオを見ていただきます。12分程度あります。ビデオを見た後は、感想をグループで話し合ってください。どんなことを話そうかな」と考えながら見るようにしてください。」 ◎ドラマを見て、意見を考える。	●ビデオを見た後のことを伝えることで、目的意識をはっきりさせる。	★映像教材 NHK「ケータイ親子の道しるべ」 第1話「わが家のルール」
5 min	<b>5. グループで感想を話し合う</b> 「(ビデオ終了後)いかがでしたでしょうか。いろいろ感想を持たれたと思います。では、今から時間を5分とりますので、感想を話し合ってください。どんな感想が出たか、後でうかがいます。では、始めてください。」 ◎ドラマを見て考えた意見や感想を話し合う。 ※参加者自身のこれまでのルールづくりと照らし合わせるようにして考えさせてもよい。	●できるだけ、グループ内の全員が意見を言えるようにながす。	
5 min	<b>6. 感想を全体で共有する</b> 「では、各グループでどんな意見が出たか、教えてください。」 ・出た意見は黒板で簡潔書きにしまとめる。 ◎各グループで出た意見を順番に発表する。 ※人数が多い場合は挙手制にしてもよい。	●数多くの意見を引き出す。	★黒板 ★チョーク
1 min	<b>7. 振り返り・解説</b> 「いろんな意見を出していただきましたが、ここからは、ドラマのシーンを振り返りながら、解説をしていきます。」 ◎ドラマの場面を振り返りながら、問題点やルールづくりの在り方について理解する。		

時間	学習活動と内容	シーン	資料など
2 min	解説ポイント1 「ケータイがほしい! 」と言われてたら <b>シーン1:</b> ちあきさんが、「ケータイがほしい! 」と迫った。「もう中学生なんだし、みんな持っているから」と主張。「簡単に買い与えるのではなく、話し合うことが大切です。」 ▼子どものケータイ所持状況 「子どもが持っている割合について確認しましょう。」 ▼子どもがよく使う機能(中学2年生) 「携帯電話には様々な機能があります。利用する目的は何か、よく話し合ひしましょう。」		★資料「子どものケータイ所持状況(グラフ)」 ★資料「子どもがよく使う機能(中2)(グラフ)」
3 min	解説ポイント2 ケータイによるトラブル <b>シーン2:</b> お兄さんは架空請求メールや、チェーンメールなど、相次いでトラブルにあっている。「ケータイをめぐる様々なトラブルはありますが、ここでは代表的な2つが紹介されています。いずれも、仕組みを知らない人が不安や恐怖にかられることにより、被害が生じてます。」 ▼架空請求とは? 「根拠のない請求が突然メールで届きます。子どもでも支払えそうな金額で設定されると、誰にも相談しないままこっそり支払ってしまう危険性もあります。」 ▼チェーンメールとは? 「メール版・不幸の手紙です。特に脅迫型のチェーンメールが問題になっています。」 ▼被害にあわないために! 「身に覚えのないメールが来たら親に報告する、チェーンメールは回さない、といった決まりをつけておきましょう。」		★解説スライド「架空請求とは?」 ★解説スライド「チェーンメールとは?」 ★解説スライド「被害にあわないために!」
1 min	解説ポイント3 他の子の親に話を聞こう! <b>シーン3:</b> 「ケータイを持たない仲間外れにされる」と不安になったお父さんが会社の同僚に話を聞いている。「不安ならば他の家はどうしているのか、聞いてみましょう。」 ▼他の子の親に話を聞こう! 「他の子の親はどのように所持させているのか、聞いてみると参考になります。ぜひ、今日を機会にお互いに情報交換できる関係をつくってください。」		★解説スライド「他の子の親に話を聞こう!」
1 min	解説ポイント4 保護者の責任でルールをつくる <b>シーン4:</b> 「わが家のルール」を守ることを条件にケータイの所持を認めた。親が子に貸し与えているものなので、場合によっては親の判断で没収・解約すると決めた。 ▼ルールづくりは保護者の責任 「保護者名義で加入するか、子ども名義で加入しても、保護者の承諾は必要です。加入するときには親の側からルールを提案しましょう。ドラマのように最初は厳しい設定にして、利用実態に合わせて後でルールをつくりかえることが大切です。」		★解説スライド「ルールづくりは保護者の責任」
1 min	解説ポイント5 ルールづくりに関するポイントの整理 <b>シーン5:</b> 「わが家のルール」は「料金」「ネット」「時間」の3項目。 ▼ルールづくりの3つのポイント 「料金はいくらで誰が払うのか、インターネット接続をするか、利用時間が家族の生活に合っているかがポイントです。ルールがあると、友人に対しても明確に事情を説明できます。」		★解説スライド「ルールづくりの3つのポイント」

続きます

## その他の展開案 1. ルールづくり編

時間	学習活動と内容 ◎は参加者の活動、 「」は講師のセリフ例を意味する。	シーン	資料など
2 min	<p>解説ポイント6 料金設定について</p> <p>シーン6: すぐに限度額を超えるので、限度額をなくしたいと変更を主張。話し合いの結果、一定額を超えたら通知を受け、超えた分は翌月のおこづかいから差し引くルールに変更した。</p> <p>▼限度額の設定</p> <p>「おこづかいの範囲を超える高額になる場合もあるため、おこづかいのあり方を含めたルールづくりをすることも考えられます。料金プランは複雑ですが、ぜひ、請求書の明細を確認しましょう。」</p>		★解説スライド 「限度額をなくしたい!」
3 min	<p>解説ポイント7 インターネットへの接続について</p> <p>シーン7: 友人からプロフ(プロフィールサイト)をすすめられ、インターネットへの接続ができるように変更を主張。友人のプロフを見たお母さんは反対を表明。話し合いの結果、注意点をお兄さんが解説しながら、リビングのパソコンでブログを始めることにした。</p> <p>▼プロフとは?</p> <p>「自分のプロフィールや写真を公開するサービスです。友人だけに公開するつもりで、無防備に個人情報や不適切な内容を書いてしまう危険性があります。」</p> <p>▼ブログとは?</p> <p>「簡単な操作で記事を書くだけで、ホームページが作成できます。パソコンをリビングなどに置いて行えば、家族も確認しやすくなります。」</p> <p>▼フィルタリングをかける</p> <p>「有害と考えられる種類のサイトをブロックしてアクセスできなくする仕組みです。」</p>		★解説スライド 「プロフとは?」  ★解説スライド 「ブログとは?」 ★資料「プロフ・ブログの公開経験(中2・高2)」 ★解説スライド 「フィルタリングについて」
3 min	<p>解説ポイント8 時間設定について</p> <p>シーン8: 利用時間について、朝7時から夜12時までに変更を主張。お兄さんに意見を求めると、部活の連絡メールができない実情がわかった。話し合いの結果、夜10時までにはリビングであればメールができるルールに変更した。</p> <p>▼もっと使いたい、ケータイ・・・</p> <p>「ルールに不便なところがあれば、話し合って変更することが大事ですが、ケータイ依存にならないように個室に持ち込まないようなルールをつくることも大切です。」</p> <p>▼1日に30件以上メールをする人(平日)</p> <p>▼ケータイメール送受信と就寝時間(中2)</p> <p>「1日に30件以上もメールの送受信をしている子どもの方が、就寝時間が遅くなる傾向があります。生活習慣との関わりが大きいので、よく話し合っただけでルールを決めることが必要です。」</p>	 	★解説スライド 「もっと使いたいケータイ・・・」  ★資料「1日に30件以上メールをする人(平日)」 ★資料「ケータイメール送受信と就寝時間(中2)」
1 min	<p>解説ポイント9 ルールをつくって充実した生活を</p> <p>シーン9: 利用時間が制限されているので、お兄さんは日常の友人との会話を重視するようになった。また、ケータイを利用しない時間を何に使うか考えるようになった。</p> <p>▼まとめ</p> <p>「ぜひ、ルールを家族で話し合い、ケータイを持たせるのであれば、ケータイ以外の時間の充実も考えましょう」</p>		★解説スライド 「ルールづくり編 まとめ」
3 min	<p>8. グループで感想を話し合う</p> <p>「解説を受けて、いろいろお感じになられたことがあると思います。最後に、グループでもう一度、感想を話し合ってください。」</p> <p>◎解説をふまえて、感想を共有する。</p>		

ここに掲載したモデル指導案は、家庭教育学級や保護者懇談会、PTAの研修会などで講座を開催される場面を想定した内容になっています。50分で展開する内容としてご提案いただきましたが、さらに長い時間が設定されている場合には、参加者同士の話し合いの時間を増やしたり、解説をゆっくり進めることで、より充実した内容になるでしょう。

大人だけが参加する場面以外でも、小学校・中学校の学級活動や総合的な学習の時間、情報科、道徳などの日常の授業の中でも活用可能な内容になっています。映像教材『わが家のルール』を視聴しながら、ルールづくりの3つのポイントや、話し合っただけでルールを変えることの大切さを教えていく、といった授業展開が考えられます。

また、授業参観の時間で、先生方が児童・生徒を対象に映像を見せながら授業を実施された後に、保護者懇談会などの場で、保護者同士が感想や意見を共有して議論を深める、といった展開も可能です。

詳しくはNPO法人企業教育研究会・事務局までお問い合わせください。  
(お問い合わせ先は20ページに掲載)

